

ブルゴーニュ大学 協定留学 月例報告書 (11月)

大澤佳子

はじめに

フランスへ来て2ヶ月が経過しました。段々とフランスの生活にも慣れてきました。
今回は学校生活、ディジョンの美術館、リヨンへの旅についてお伝えしたいと思います。

学校生活



授業の様子

私のクラスは全休の日がないので、月曜から金曜まで学校に通っています。

通学はトラムを利用しています。1ヶ月ごとチャージするタイプの定期券を購入し、ほぼ毎日使用しています。

授業は1コマが2時間から3時間です。クラスによって異なりますが、私のクラスはテキストを使った文法、リスニングを主に行っています。授業は当

てられて発言することもあります。自主的に発言する場面が多いです。

午後にも授業がある日のお昼は友達と学食を利用しています。サラダなどの前菜とメイン、デザートを自分で選ぶことができ、学生は3€ほどです。しかし、最近学生の割引に使用する学生証が反応しなくなってしまう、通常の9€での支払いになってしまいました。先生や事務の方に相談し、来週には使えるようになるはずですが、学食はとても便利なので早く解決するように願っています。

午前中で授業が終わる日は、友達と駅周辺やショッピングモールへ遊びに行ったりします。

ディジョン美術館

休日にはずっと訪れたいと思っていた今住んでいる街、ディジョンの美術館へ訪れました。

コレクションは誰でも無料で見ることができ、特別展は料金がかかります。しかし、学生は無料で見ることが可能です。フランスの美術館や博物館は学生や若者などに割引が適用される、もしくは無料になる所が多く、気軽に出かけることができます。

館内には絵画や彫刻、ミイラや陶器など様々なものが展示されています。彫刻が並ぶ展示室や大きな絵画が展示されて



彫刻の展示

いる部屋に入ると圧倒されました。

現在の特別展はアジアに関する特別展を行っており、日本や中国が中心の展示です。

中には日本のお椀やしめ縄などが展示されていて、フランスに来て日本に関する展示品を見erとは思っていませんでした。休日に出向いたので、多くのフランス人が興味深そうに鑑賞していて、どこか嬉しい気持ちになりました。



アジアの展示室

リヨンへの旅



リヨンの夜景

フランスに来てから初めての旅行をしました。行き先はディジョンから TER で2時間ほどで行けるリヨンです。リyonは第二の都市と呼ばれ、美食の街としても有名です。

まず向かったのはフルヴィエール・ノートルダム大聖堂です。ここはフルヴィエールの丘の上に立っている大聖堂で、丘からはリヨンの街を一望することができます。

大聖堂にたどり着くと、ミサの最中で写真撮影は禁止、そして中をじっくりと見ることはできませんでした。残念でしたが、中に入りミサの雰囲気や壁画を少し見て次の目的地に向かいました。

次に訪れたのは、シネマ&ミニチュア博物館です。ここでは映画の小道具やミニチュア作品を見ることができます。ターミネーターやジュラシックパークなどの有名な作品の小道具がずらりと並んでおり、とても楽しかったです。

ミニチュアの展示では、壁に小さな部屋が埋め込まれているような形で展示されているため、自分が小さな部屋をのぞいている感覚になります。どれも緻密で本物のような再現度に驚きました。

午後はリyon美術館へ行きました。美術館内には古代の遺跡やミイラ、ロダンの彫刻、モネやルノワールなどの印象派、ピカソなどの現代美術まで、幅広い展示を楽しむことができます。

展示の数が膨大なので、美術館を回りきるのに3、4時間ほどかかりました。へとへとになりましたが、作品を間近でじっくり見ることができて、感動しました。

リyonは町並みがとても可愛く綺麗ですが、特に夜のローヌ川がライトアップされている夜景がとても綺麗で感動しました。

まとめ

留学生活も折り返しとなりました。12月はクリスマスや年末などイベントが目白押しなので、フランスでのイベントを楽しみつつ、勉強もより一層励んでいきたいと思います。